

技能実習期間中の課外活動に関する取組好事例①

令和5年度 調査結果

外国人技能実習機構

東京都 G監理団体

【監理団体概要】

実習生の国籍：ミャンマー、フィリピン、バングラデシュ
実習生の職種：介護、ビルクリーニング、工業包装等

【ポイント】✓監理団体が独自に考案したコンテストを主催し、日本語学習を支援
✓SNSを活用し、実習生に必要な情報を発信

コンテストを実施し、日本語学習を支援

監理団体は実習生の日本語学習支援のために、「Own（自分自身の）Dictionary（辞書）をつくらう」をコンセプトに「Own Dictionaryコンテスト」を開催している。開催期間は1年間で、実習生たちが覚えた日本語の単語や文章の中から1日1フレーズを監理団体にメールで送信してもらい、そのフレーズの日本語を完璧に習得してもらうことを目的としている。最終審査として、1年間毎日送信した実習生たちにテーマを与え、5分間の日本語のスピーチをしてもらい、優勝者1名と準優勝2名を選定した。コンテストを通じて、日本語を自主的に学ぶことを促進する効果があり、また、実習生と団体担当者との共通の話題ができ、定期訪問がスムーズになった。今後、実習生が送信してくれた日本語を本にしてまとめ、今後來日する日本語を学ぶ実習生たちに役立てたいと考えている。

実習生等が必要な情報を入手できるよう動画ページを作成し、SNS上で配信

監理団体では、実習生が生活に関する注意事項やその他必要な情報を入手できるよう動画ページを作成し、実習生の日本での生活をサポートしている。



監理団体のホームページにコンテストを掲載



コンテストの最終選考者となった実習生



優秀賞のNさんのスピーチ

静岡県 Y 監理団体

【監理団体概要】

実習生の国籍：ミャンマー、タイ

実習生の職種：加熱性水産加工食品製造業

【ポイント】 ✓フットサル大会に参加し、交流を深める

フットサル大会開催経緯

Y地域のサッカーチームは、「新型コロナウイルスの影響で職場や地域でのコミュニケーションの場が減少し、日本の生活習慣になかなか慣れない実習生のために、サッカーの力で実習生の生活を豊かにする」ということをテーマに、Y地域の企業で実習中の実習生が参加する「フットサル大会」を企画した。監理団体は、各実習実施者を通じて大会の案内を行い、参加する実習生を募集した。

大会に向けて練習を開始

大会に参加することとなった実習生たちは、休日にグラウンドで自主的にサッカーの練習を行った。ユニフォーム用のTシャツは監理団体の担当者がデザインし、実習実施者が実習生に無償提供した。

大会当日、交流が深まる

実習生たちは汗を流して競い合い、ボールの動きに皆が一喜一憂した。応援に駆け付けた他の実習生や実習実施先の社員らからの声援で会場は熱気に包まれ、一体感が高まった。他の実習実施先の実習生や監理団体、実習実施者間でも交流が深まった。実習実施者は「皆が喜んでくれたので良かった。実習生たちの喜ぶ顔を見れたので、今後も継続して参加したい。」と話している。また、参加した実習生たちからは、「参加してとても楽しかった。」、「来年もやりたい。」、「選手以外の実習生たちが応援に来てくれて嬉しかった。」との声が上がった。



大会でのチームの集合写真



試合中の実習生

技能実習期間中の課外活動に関する取組好事例③

令和5年度 調査結果

外国人技能実習機構

東京都 K監理団体

【監理団体概要】

実習生の国籍：ベトナム、インドネシア、ミャンマー、タイ等

実習生の職種：溶接、プラスチック成形、ゴム製品製造

【ポイント】✓小学生との国際交流を実施

✓日本語教育機関との連携による日本語学習支援

小学生との国際交流を実施

実習実施者Y社は、同市内のY小学校の先生から、子どもたちに異文化交流をさせたいとの相談を受け、ベトナム人実習生が小学校の交流会に参加することとなった。実習生は子どもたちにパワーポイントを使いながら、写真付きでベトナム料理を紹介したり、簡単なベトナム語を教えたり、ベトナム式ジャンケンを子どもたちと一緒にやった。交流会を通じて海外に興味を持つ子どもたちが増え、「ベトナムに行ってみよう」という声が多く聞かれた。先生からは「素敵な民族衣装を持参していただき、『ほんもの』に触れる素晴らしい時間となった。これまで学んできたベトナムのこと等がこの交流会と結びつき、学びがさらに深まった。貴重な機会であった。」との声が寄せられた。実習生は「最初は緊張したが、話しているととても楽しかった。」と話している。このほかに、Y社では近隣の小学校に対して工場見学会を開催しており、その中で実習生との質疑応答を実施する等、実習生は地域と交流を深めている。

日本語教育機関との連携による日本語学習支援

監理団体は、日本語教育機関と連携し、実習生の日本語学習の支援を実施している。受講はオンラインで実施しているが、企業や各実習生と日本語習得目標を相談し、各実習生の日本語能力に応じたベストな学習環境で学習できるよう支援している。日本語能力試験受験対策コースを受講した実習生からは「コースを受講し、試験に合格することができた。日本語を話すことが楽しかった。」、実習実施者からは「試験となると読解や文法等を社内で教えることが難しかったので、受講してもらってよかった。」との声が寄せられている。

また、監理団体では、同日本語教育機関と連携し、実習生の入国前の日本語学習支援も実施している。実習生からは「入国前に日本人の先生から教えていただき活きた日本語を学べた。」、実習実施者からは「実習生と意思の疎通ができ、大変満足している。」との感想が寄せられている。



【写真】小学生と一緒にベトナム式ジャンケンをしている実習生



ベトナム紹介資料